

令和2年度 第3回日進市男女平等推進審議会議事録

日 時 令和2年11月6日(金) 午後6時30分～8時20分  
 場 所 日進市役所 本庁舎5階 第1委員会室及びオンライン  
 出席委員 中島美幸、可児康則、吉田真砂、山本真理子、山本健一、水谷有志、  
 福田有輝、原真理子、菅沼成明、下野房子(敬称略)  
 欠席委員 安形典子  
 事務局 岡部功(市民協働課長)、蟹江砂織(同課主幹)  
 武田裕子(同課共生共同係主査)、松田涼輔(同係主事)  
 傍聴の可否 一部不可  
 傍聴の有無 有(5名)  
 協議事項等  
 (1) 第3次日進市男女平等推進プラン(素案)について  
 (2) 令和2年度日進市男女共同参画あるある川柳・標語の審査について  
 (3) その他

議事及び発言内容

発言者	内 容
	開会
事務局	開会を宣す
会長	あいさつ
事務局	以降の議事の取り回しを会長に依頼
会長	傍聴者の確認
事務局	傍聴の申し出有り
	傍聴者入場
会長	傍聴者への必要事項の伝達
会長	次第に沿って進行
	(1) 第3次日進市男女平等推進プラン(素案)について
事務局	誤字修正、指標の差し替え プラン(素案)について説明
会長	第3次プランの特色や、現行プランとの変更点は大きく2点ということ。 1点目は、現行プランと比較して、第3次プランは実行性を高めるため、項目をかなり絞り込んだ点。プランの実行性を高めて日進市の男女共同参画を推進したいということで精査し、ポイントを絞り込んだということ。 2点目は、第3次プランは横断的な視点を設定し、プラン全体を通して意識していく視点について明記した点。
会長	委員より事前にいただいたご意見の中から順にご議論いただきたい。 体系図についていくつかご意見があるため、フォーカスしていきたい。

会長	基本目標IV②さまざまな社会的困難を抱えている人の支援について当初は「困難」という言葉だけであったが、ご意見を頂き「社会的」という言葉を加えた。「社会的」という言葉はあっても良いと思うが、いかがか。
委員	一同了承
会長	基本目標IV②③の施策「ジェンダー平等の視点を取り入れた」について文言が続いて書かれている。煩雑に見えるかもしれないが、男女平等推進プランとして、担当課がジェンダー視点を取りこぼさず実行していくためには、繰り返しではあるが文言が必要かとも思うが、このままでよろしいか。
委員	一同了承
会長	基本目標IV③施策C「非常時の女性に対する暴力の防止」について「女性」を入れない方がいいのではないかというご意見あり。事務局は残したいとのこと。私としても残しておきたいが、いかがか。
委員	賛成する。
委員	女性にフォーカスした取り組みではあるが、災害時に暴力を受けてしまう方は必ずしも女性だけではなく、例えばLGBTの中にもいらっしゃると思う。表現を女性だけに特化しない方がよいのではないか。
会長	難しい問題ではあるが、女性にフォーカスするということは決して性的マイノリティの方を排除しているわけではなく、人を女性/男性と2分化している社会に問題がある。女性は、社会の中でマジョリティでありながら少数者扱いされている。マジョリティながら少数者扱いされている女性が性暴力被害にあっている事実がある。性暴力が弱者に向けられていくという観点から考えると、性的マイノリティの方たちも集約されている構図ができていると思うので、女性という表現の中に性的マイノリティの方が入るわけではないが、女性に対する暴力という表現はあったほうが良いかと思う。
委員	私も「女性」だけではないと思うので、もう少し大きな括りができる言葉があればいいと思う。
会長	ただ、女性に対する暴力は深刻。難しいところだが、今回のコロナ禍においても女性の自殺がすごい勢いで増加しており、その背景は貧困であったり家庭内暴力であったりするようだが、結局そういうことで追い込まれているのは、女性が圧倒的に多い。 男女共同参画の元となっている大きな条約は女性差別撤廃条約で、性差別がある社会においては女性のみならず性的マイノリティの方たちも差別されているという発想のもとにつくられている。日本では女性に特化した法案は国会で通らなかったのが男女共同参画ということになったが、もともとは女性に対する差別をなくするという所からはじまっていて、それをなくすことによって性的マイノリティの方はもちろんのこと、男性も暮らしやすい社会にしていけるという発想のもとにできたものである。女性に対するという言葉は付けておきたいのですがいかがか。 性的マイノリティの方に関しては、例えば他市町のように独自の条例などで

	<p>暮らしやすいようにサポートしていくなどの必要があると思う。非常時を考えると、特に阪神・淡路大震災の時には避難所でレイプ事件が起きている。妊娠する可能性のある女性が、男性からこういった被害を受けることは性的搾取の暴力。</p> <p>現行プランでは取り組み事項が増え、性差別という視点が曖昧になってきたのではないかという考えから、今回は項目を精査して絞り込んだ。もう一度初心に立ち返った取り組みが必要かと思う。そうしないと女性に対する暴力はいつまでも続いてしまうのではないか。</p>
副会長	<p>非常時の女性に関する暴力に関しては長年指摘されている所で、そこを女性に対するという意味を無くして一般化してしまうと、その部分にあまりフォーカスしていないように捉えられてしまう気がする。そういう意味では私も会長と同じ意見で、女性に対するという言葉は残した方がよいと思う。</p>
委員	<p>女性に対する暴力については、今の時点で現実の可能性として考えた時に、問題として大きく残っている部分なので、今回は残しておくべきかと思う。性的マイノリティの方に対することについては基本目標Ⅰの方で示すなどして、この部分としては残しておいたほうが、現実と向かい合うというところで分かりやすいと思う。</p>
委員	<p>素案の通りで一同了承</p>
会長	<p>施策 No. 49「身体的性特有の健康課題」という言葉について こういう言葉はあるのかというご意見。</p>
事務局	<p>言葉を混ぜてしまった可能性がある。</p>
会長	<p>「性別特有の健康課題」といった感じで良いと思うが、いかがか。</p>
委員	<p>一同了承</p>
会長	<p>キャッチコピーについて 事務局より、案が5つ提案されている。どれがよろしいか。</p>
委員	<p>「日進」は、ひらがなの方が柔らかくて親しみがあると思う。</p>
委員	<p>キャッチコピー「誰もが暮らしやすい多様性を認めあうにっしん」で、一同了承。</p>
会長	<p>今回、かなり施策なども削られているが、その点についてはどうか。</p>
委員	<p>現行プランより精査されており、前進していると思う。</p>
委員	<p>絞り込みがされていることと、全体が工夫されていて見やすくなっており、訴えることも多くて良いと思う。</p> <p>女性が働き続けるためには保育園や放課後児童クラブなどの問題がある。日進市の待機児童について、関連する目標値のニーズが出ているが、それで網羅できるのか。</p>
事務局	<p>待機児童の具体的な数はわからない。計画を基に進めていると聞いている。</p>
委員	<p>日進市のプランということで、本市についての膨大な量の統計を取った上で現状と課題等をまとめてあり、非常に見やすくなっていると思う。</p>

	私もアンコンシャス・バイアスが課題だと感じているので、こういった計画をもとにこの10年で少しでも取り除いていければと思う。
会長	性別による子どもの育て方に関する意識調査をしている自治体はまだそんなに多くはない。日進市では女性市民の方は「男の子、女の子と区別せず育てた方がよい」意見が多く、男性市民はどちらかというとなんの子、女の子で育て方を分けるような考え方をしているというような統計が出ている。こういった意識調査を活用しながら日進市でもアンコンシャス・バイアスについて鋭く切り込んでいただければと思う。
委員	見やすいですし、横断的な視点の記載があったりして、分かりやすく前向きに取り組んでいこうという意思を感じられて、読んでいて楽しいプラン。
副会長	こういった計画は改定を進めるたびに項目が増えていってしまうものだが、今回はきちんと項目が絞られていて分かりやすくなっていると思う。アンコンシャス・バイアスにきちんと触れて、そこに分量を割いて記載されているので、とてもいいプランになっていると思う。ただ、せっかく項目を絞っても実行できなければ意味がないので、絞った以上はきちんと実行していただきたい。
委員	混合名簿について、審議会の意見については担当課に伝えるとされているが、担当課の方はこの問題に対してどう考えているか、今後こうする予定であるといったお答えは頂いているか。
事務局	今回のプランを策定する中で、アンコンシャス・バイアスなどのデータを示しながら担当と話をした。今後も、担当課に推進について話を続けていくことになるかと思う。混合名簿の件も含め、アンコンシャス・バイアスなどは国も取り組んでいるので、注視しながら進めていきたいと考えている。
委員	子どもたち一人ひとりの身近なところから、1つ1つ積み重ねていくことが大切な教育であると考えている。ぜひ取り組みを進めてほしい。
委員	男女に限らず色々な困難を抱えた方の相談を受けていると、ダイバーシティに向けて市町村は進んでいくべきと思うがまだまだ先は見えない。先ほども「女性の」という文言を入れるか議論したが、その点は難しい所なのか。
会長	多様性という問題と女性という問題について、今は女性活躍とよく言われているが、最終的な目的は女性が活躍するだけではなく、女性が活躍することによって組織の岩盤に風穴をあけて、多様な人たちが活躍できる社会にしていこうということ。 現在は女性であるというだけでなかなか活躍しにくい状況となっているが、人口の半分である女性たちが活躍できる社会というのは、ひいては男性も、また、障がいを持った方、性的マイノリティの方、年齢の高い方なども活躍しやすくなる。女性活躍で終わるのではなく、最終的な目的は今回のプランにも明記しているダイバーシティ&インクルージョン。 人口の半分が差別されている社会は異常なことで、その半分の人たちが活躍しやすくなれば、すべての人たちが活躍しやすくなるという考え方が最終的

	な考え方で、多様性は最終的なゴール。そのためには人間を男と女という2つにしか分けていない社会を変えていこうという流れの中で、女性への性差別という捉え方があるということ。多様性と女性への差別は全く別ではないということをご理解いただければと思う。
委員	一同了承
事務局	プラン(素案)について、本日以降にお気づきの点があった場合は、11月15日までに事務局に連絡を。 1月頃パブリックコメント。それまでのプラン(案)の調整につきましては会長と事務局に一任いただきたい。プラン(案)はパブリックコメント前に委員に送付する。
委員	一同了承
	議題1終了
	傍聴者退席
	(2)男女共同参画あるある川柳・標語の入賞作品の選考について
	審査し、最優秀賞・優秀賞・佳作を選定
	最優秀賞:変わってる?ちがいは個性 すてきだよ! 優秀賞:ランドセル 色のちがいは 個々の花 佳作:おとうとも 料理手伝う イクメンに 佳作:おとこのこ なみだながして いいじゃない
事務局	表彰は12月11日に市長公室にて。
	(3) その他
委員	愛知県内の市町村で男女共同参画が進んでいる自治体はあるか。日進市はどれくらいの位置にいるのか。
会長	どの市町村も一生懸命取り組んでいると思うが、計画が進んでいても状況がなかなか変化しない市町村もある。 日進市は先進的な取り組みを行っていると思う。意識調査の内容もそうだが、特に学校現場での取り組みが進んでいると思う。指定校事業では先生方が様々な取り組みをされており、そういう取り組みをしている自治体は少ない。 文科省の取り組みが非常に遅れていて、例えば文科省のウェブサイトにも「男女共同参画」という項目が、社会教育にはあるが学校教育の方にはない。ただ2015年から、性的マイノリティで深刻な状況にある子どもへの対応として、教員の研修を始めたり実態の調査を始めたりしている。また、例えば職業選択の時に学校の先生が不用意に「女だから、男だから」と言ってしまっただけで職業選択の幅を狭めているのではないかと、などということで、アンコンシャス・バイアスについても実態調査が行われた。 日進市はそれよりもずいぶん早い時期から先生方が取り組みを積み重ねていらっしゃるので、胸を張って男女共同参画に取り組んでいると言っただけであればと思う。ただ全体的にみるとまだまだな部分もありますので、より一層啓発事業などを推進していく必要はあると思う。

	また、混合名簿については、小学校や中学校において男女別々の名簿から混合名簿に変わるという体験は、子どもたちにとって非常に手ごたえのある変化であると、学生からも聞く。変わっていくということを体験させるのは重要であると思う。
委員	今回、川柳の応募数が少なかったのは、市役所に直接提出するという形をとったからか。
事務局	例年ですと学校を通じて、児童・生徒に周知をいただいているが、コロナ禍の影響もあり、今回の作品募集については学校教育課の通知に従い、ホームページに作品募集の一覧を掲載し、募集した。
委員	子どもたちが家庭にいる時間も多かったかと思うので、応募が少なかったのは残念。
事務局	次回の審議会は2月～3月予定。
	閉会 (20:20)